アンサーバックシステム
リモコンエンジンスターター＆ターボタイマー

取扱説明書／保証書

BeTime A-73

この度はリモコンエンジンスターターを、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。尚お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目　次

COMTEC

P-Ver.2　511140

特長

アンサーバックシステム採用でリモコンにお知らせ

本製品はアンサーバックシステムを採用しており、リモコン操作したときに車輌のエンジン始動、ドアロック・アンロック確認などをリモコンに光りと音でお知らせすることができます。
リモコンへのアンサーバック音はメロディー、ブザー、無音の3段階切替え式です。

お好みのウォーム時間とターボタイマー時間を設定

●エンジンスタート　ウォーム（暖気）時間は10分、20分、30分、40分の中から選択。
●ターボタイマー時間はOFF、30秒、1分、5分の中から選択。
●グロー時間（5秒、8秒）の設定もできます。

電波視界到達距離　MAX　3000M（当社　測定最高値）

●本製品は特定省電力の認定を受けており、見通しの良い場所で最長約3000m（※1）の通信が行えます。（※2）

※1　当社測定による最高値
※2　場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合もあります。

守護神シリーズとの連動でセキュリティー性を強化

●弊社　別売　自動車盗難警報装置　守護神シリーズのスタート、ストップ操作が可能です。
　また、守護神SS-150,300,350のリモコンで本製品のエンジンスタート、ストップ操作も可能になります。
●本製品のアンテナユニット内蔵LEDランプ点滅により夜間、不審者を心理的に威圧することができます。

ワイヤレスドアロック機能搭載（オプション　Be-970が必要になります。）

●リモコンで車輌ドアロック・アンロックできます。一部車種でオプション　Be-965ドアロックリレーアダプターが必要な場合もあります。（※3）
※3　詳しくは弊社「ビータイム車種別専用ハーネス適合表」を御覧いただくか、サービス部へお問い合わせ下さい。

操作性を重視したリモコン

●ワイドインジケーターパネルの採用でエンジン始動などをLEDランプ表示でわかりやすくお知らせ。
●ダブルスイッチ方式の採用でうっかり押しを防止。
●付属リモコン以外に、もうひとつ別売りリモコンを追加登録可能。

安全機能

●本製品は万一に備えた安全機能を採用しています。
1.　独立配線システム
2.　IDコードによる誤作動防止機能
3.　A/Tシフトストップ機能
4.　フットブレーキ回路　※3、4はどちらか選択になります
5.　ACC検出回路
6.　バッテリー電圧検出機能
7.　ボンネットセンサー回路　※オプション接続
8.　ドアオープン（カーテシ）ストップ回路　※オプション接続
9.　本体の消費電流を抑えるスリープ機能（8日間　車輌エンジンをかけなかった場合）

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

■排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
■ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
■火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
■暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトレバーをP(パーキング)に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、P(パーキング) 以外でもイグニッショキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
■暖機運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を充分に冷ましてから行ってください。
■お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
■リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
■マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
■一部の車輌で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車輌が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。　また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
■リモコンは、防水タイプではありません。雨や雪等でリモコンが濡れないようにご使用下さい。又、濡れた手でさわったりしないで下さい。

注意

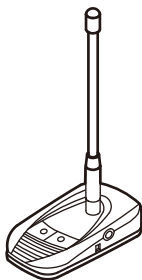
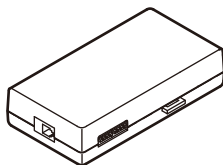
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

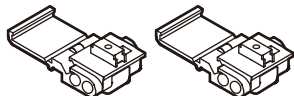
■本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
■リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
■リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
■ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
■本機作動中はキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■本製品作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車種は、降車時にスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください。
■公道でエンジンをかけたまま車輌を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。)

本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

梱包内容

■リモコン(1個)
（※電池含む）

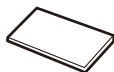
■アンテナユニット(1個)

■メインユニット(1個)

■付属品

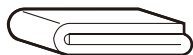
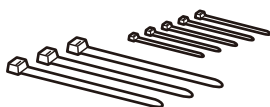
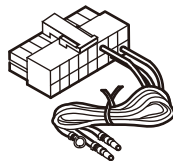
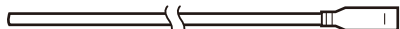
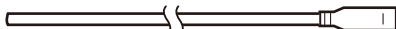
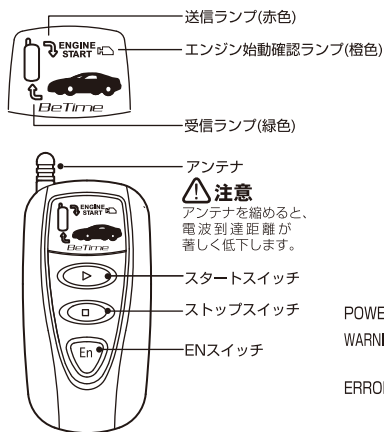
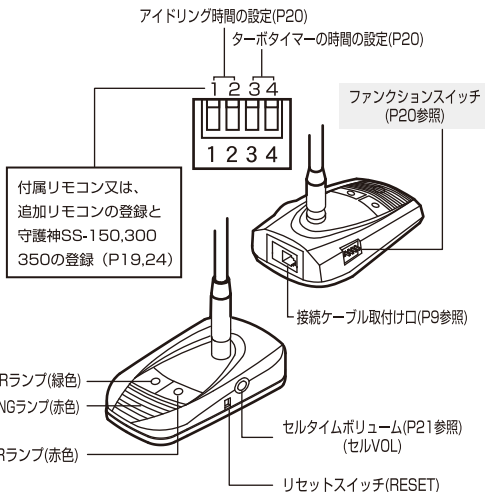
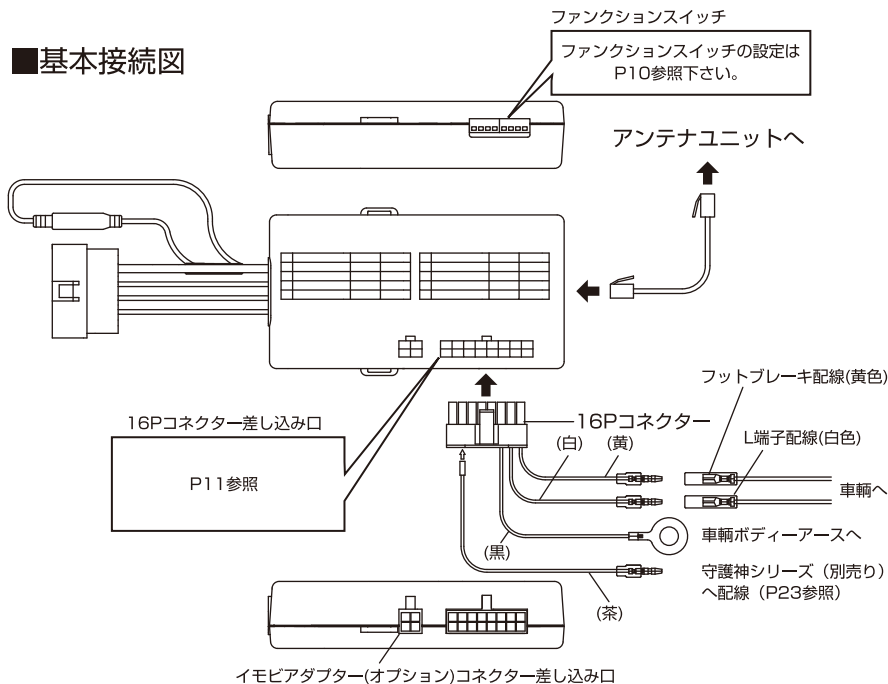
■エレクトロタップ(2個)

■コードクランプ(2個)

■アンテナユニットステー(1個)

(取付方法はP30参照)

■接続ケーブル（2.5m）（1本）

■両面テープ(アンテナユニット固定用　1枚)

■警告ステッカーシート（1枚）

■保護テープ(1枚)

■インシュロック
(大)　(3本)
(小)　(5本)

■16Pコネクター(1個)

■フットブレーキ延長線(黄色)(P16参照)(1本)

■L端子延長線(白色)(P17参照)(1本)

■自動車盗難警報装置「守護神」(当社別売)接続端子線(茶色)(P23参照)(1本)

各部の名称と基本接続図

取付け前の注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

❶ 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター　　・ドライバー　　・ハサミ
- ・プライヤー　　・スパナ又はボックスレンチ
- ・カッターナイフ　　・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

❷ シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

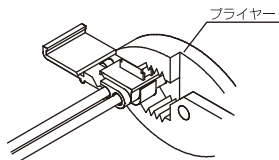
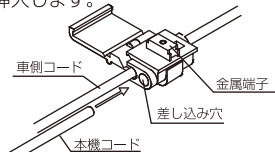
シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。

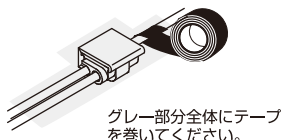
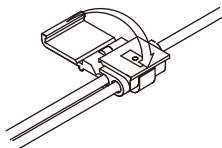
❸ 配線について

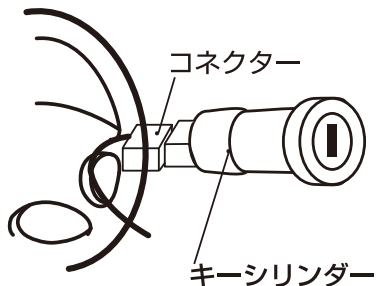
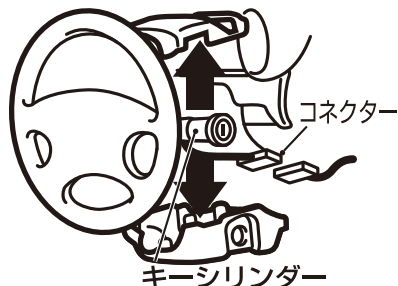
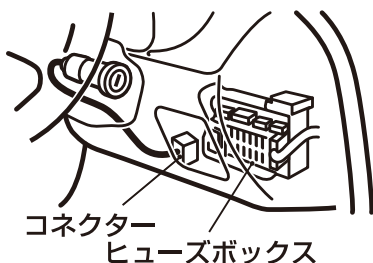
●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、保護テープを貼って保護してください。

❹ エレクトロタップ使用方法について

1 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。

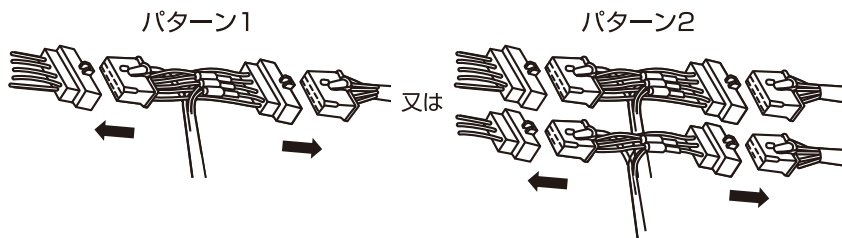
2 プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。

3 カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

4 絶縁テープを巻いて作業終了です。

1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

①キーシリンダー直付けタイプ

②キーシリンダーから10ｃｍ～20ｃｍの場所にあるタイプ

③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ

※コネクターの場所は車種によって異なります。
(ほとんどの車が上記1～3のいづれかにあてはまります。)
車種によってはコネクターが2ケ所存在する場合もあります。

2 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。

パターン1

又は

パターン2

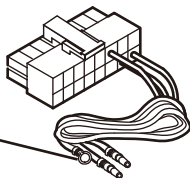
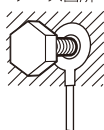
⚠ **注意**

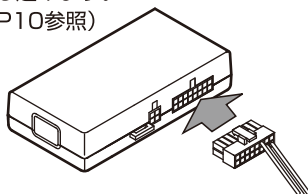
・コネクターを外して、キーを回しても、エンジンはかかりません。
　もしかかった場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。
・専用ハーネスによっては車側のコネクターを2ケ所外し、接続する必要があります。
（パターン2参照）

取付け（接続）

3 アースの取付

①アース端子（黒コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

⚠ **注意**
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

この部分に取り付けます

②メインユニットにコネクターを差し込みます。
ファンクションスイッチの設定（P10参照）をご確認下さい。

4 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。
下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

①

専用ハーネスに
黒色コードが1本

8Pコネクターを接続する

②

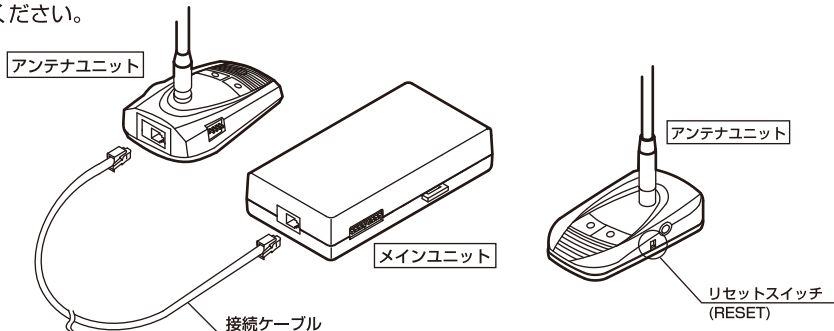
専用ハーネスに
黒色コードが1本
灰色コードが1本

8Pコネクターを接続し、灰色コードを図の様に差し換える

専用ハーネスに
黒色コードが2本

8Pコネクターを接続し、ハーネスの黒色コードを1本カットし、ギボシをカットした灰色コードと図の様にエレクトロタップで接続する

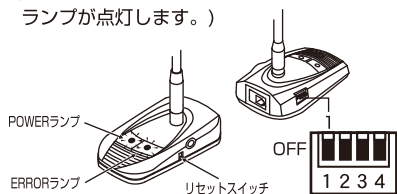
5 アンテナユニットとメインユニットの接続

付属接続ケーブルをアンテナユニットとメインユニットの取付け口に、それぞれ接続してください。

注意 接続した瞬間、セルが回ることがあります。
その場合は、アンテナユニットのリセットスイッチを押してください。

6 IDコードの登録・再登録

本製品を初めて取付けた時や、バッテリーを交換した時、またリモコンを紛失した時にIDコードの登録を行います。

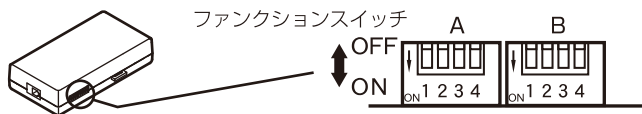
①パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をOFFにします。(ID登録入力時のみOFFにします）
その後、リセットスイッチを押してください。
(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。）

②リモコンのアンテナを十分にのばします。

③リモコンのEN スイッチを押します。

④リモコンの送信ランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時に押します。

この時、リモコンの受信ランプ(緑)が点灯して、アンテナユニットのランプ（緑・赤）が消灯すれば終了です。リモコンアンサーバックNG音の場合はもう一度ID登録をし直して下さい。上記操作を1分以内に行って下さい。1分以上経過した場合アンテナユニットが自動的に消灯します。
その後、キーで必ずST（セル）の位置まで通常より長めに回してエンジン始動して下さい。
エンジン始動したら、エンジンを止めて下さい。（エンジン始動しない場合はP14 4 を参照）
※追加リモコンを登録したい場合は、P19をご参照下さい。

取付け(メインユニットのファンクションスイッチ設定)

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがついています。

A	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0(v)の車はONにします。 12(v)又は車輌と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	セル時間設定	エンジン始動時のセルを止める時間を設定します。 (※2)	オート (自動停止)	マニュアル (ボリューム調整)
3	エンジン始動 検出方法	エンジン始動検出の選択をします。 L端子配線した場合はONにします。	オート (自動検出)	L端子
4	グロー時間 (※3)	グローの時間を設定します。	5秒	8秒

B	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択 (※4)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種は ONにします。(通常はOFFにします)	IG1	IG2
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	しない	する
3	なし			
4	なし			

⚠ 注意

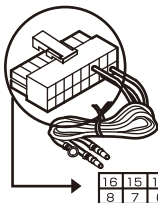
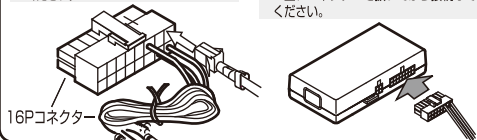
※1　一部の車輌でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキングPの位置以外でキーが抜けてしまう場合に配線します。オプションBe-963　Pポジション線を車輌のPポジションインジケーターランプに配線する必要があります。

※2　A-2をON(マニュアル設定)にした場合、アンテナユニットのセルタイムボリュームで0.5秒～2.5秒まで調整できます。　(詳しくはP21参照)
A-2をOFF(オート)にすると、セル時間延長モードになりエンジン始動検出確認してから最長1秒までセル時間を延長できます。

※3　ほとんどのガソリン車はOFF(5秒)のままにします。グロー時間とは、IG ONからセルをスタートさせるまでの時間です。基本的にグローランプを消すための役割です。

※4　ダイハツムーヴ等、一部の車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルが回らずエンジン始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いててPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない時は、メインユニットのファンクションスイッチB-1をONにしてください。

取付け(メインユニットの16Pコネクターの接続)

16Pコネクターには下記のオプションを接続することができます。

取付け方

16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P16参照)	9	ドアポジション(オプション)
2	L端子(P17参照)	10	ドアロック(オプション)
3	ボンネットセンサー(オプション)	11	アース(P8)
4	ボンネットセンサー(オプション)	12	オートライト(オプション)
5	カーテシ(オプション)	13	未使用
6	未使用	14	未使用
7	守護神接続(P23)	15	ハザード(オプション)
8	ドアアンロック(オプション)	16	Pポジション（オプション)

■フットブレーキ (NO.1)

本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P16参照)

■L端子 (NO.2)

エンジン始動信号を検出します。(P17参照)

■ボンネットセンサー (NO.3・4)

当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンはかかりません。

■カーテシ (NO.5)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)又は、別売カーテシ線(Be-963)を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを約15秒強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。

■守護神接続(NO.7)

当社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続に使用します。(P23参照)

■ドアアンロック(NO.8)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアアンロック線を接続するための端子です。(P26～28参照)

■ドアポジション(NO.9)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアポジション線を接続するための端子です。(P26～28参照)

■ドアロック(NO.10)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアロック線を接続するための端子です。(P26～28参照)

■オートライト(NO.12)

当社別売オートライト線(Be-964)を接続するための端子です。スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車種に必要です。

■ハザード(NO.15)

当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)を車輌にハザード線を接続するための端子です。
ドアロック・アンロックするときに連動します。

■Pポジション(NO.16)

ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車輌にPポジション線(Be-963)を接続します。

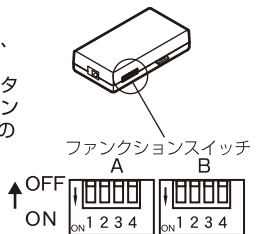
取付け(作動確認)

⚠ 取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。
作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順　　対処方法

1 アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。
但し一部車種は、下記の設定にします。

・ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いててPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない時は、B-1のスイッチをONにして下さい。

ファンクションスイッチ
A　B
OFF
ON
ON 1 2 3 4　ON 1 2 3 4

2 キーをACC(アクセサリー)の位置まで回してください。

Q:この時、ラジオ等アクセサリー電源のON／OFF操作ができますか？

P14
A

3 キーをONの位置までまわしてください。

Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、アンテナユニットのPOWERランプ（緑）が点灯しますか？

P14
B

4 キーを必ずST(セル)の位置まで通常より長めに回してください。

注意

※この動作を行うことにより、セル始動時のIG2の認識を記憶します。
この動作を行わないと、リモコンでエンジン始動できません。

Q:この時、エンジンが始動しますか？

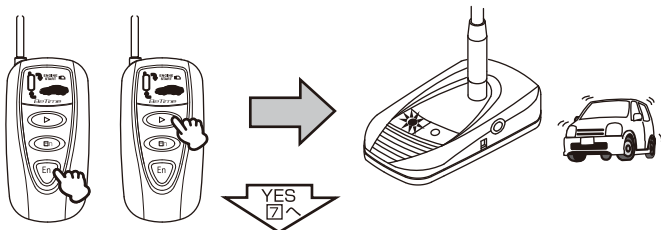
P14
A

5 キーをOFFの位置まで回して、抜いてください。

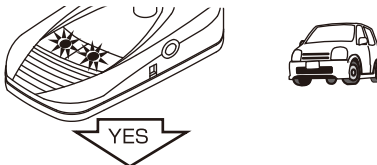
Q:この時、エンジンが停止しますか？

P14

6 リモコンでENスイッチを押した後、リモコンのランプが点滅している間にスタート(▶)スイッチを押します。

Q:この時、アンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯し、エンジンが始動しますか？
（エンジン始動後、アンテナユニットPOWERランプは点滅します。）
又は、エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合はグレーの配線の差し替えを行ってください。（P8.**4**-②）

7 エンジン始動中にキーを入れ、ACCまでまわします。

Q:この時、アンテナユニットのERRORランプとPOWERランプがP15　No.13のような点滅になりエンジンが停止しますか？

YES

P14

E

すべての作動は正常です。一旦キーをONまで回せば点滅は解除され、キーを抜けば終了です。

取付け(作動確認対処方法)

A

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

B

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)
4 .アースが不安定な場合。
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)

C

1 .ターボタイマーが作動していませんか？(P20参照)

D

1.エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。
→L端子配線をしてください。(P17参照)
2.受信するがセルがまわらない。アースが不安定ではないですか？
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)
3.セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。
・セル時間が短い可能性があります。(ガソリン／ディーゼル車)
→アンテナユニットのセルタイムボリュームを長めに調整してください。(P21参照)
・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車)
→メインユニットファンクションスイッチA-4をONにしてください。(P10参照)
4.エンジンがかかってすぐ止まる。アンテナユニットのERRORランプ(赤色)とPOWERランプ(緑色)が同時に点滅していませんか？
P/N検出エラーです。フットブレーキ配線をしてください。(P16参照)
5.ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでエンジンかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しないのでB-1のスイッチをONにして下さい。
6.エンジン始動しない。P15 No.15のランプが点滅していませんか？
IG2未検出エラーです。キーでエンジン始動を行って下さい。

E

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

取付け（LED確認表）

接続後の動作確認時や本製品アンテナユニットに下記の表示をした場合、内容と対策／解除方法を表します。

No.	ランプ名称	表　示	名　称	内容／解除方法
1	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○○○○○○○	待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○○○○○○○		
2	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○○○○○○○	キーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉		
3	ERRORランプ（赤）	●●●●●●●●●●●●●●●●	リモコンID未登録	リモコンでID登録して下さい。（P9参照）
	POWERランプ（緑）	◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉		
4	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○○○○○○○	キーOFFで本機作動中の状態 エンジンスターターターボタイマーが作動しているとき	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	◉○◉○◉○◉○◉○◉○◉○◉○		
5	WARNING（赤）	●○●○●○●○●○●○●○●○	セキュリティモードON	正常作動しています。
	WARNING（赤）	○○○○○○○○○○○○○○○○	セキュリティモードOFF	
6	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○●○●○●○	P.N　検出 エラー	本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策　リモコンでエンジンがかからずにこの表示になる場合はフットブレーキ配線(P16)が必要です。
	POWERランプ（緑）	◉○◉○◉○◉○◉○◉○◉○◉○		
7	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○●○●○●○	フットブレーキ検出 エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策　フットブレーキ線の接続を確認してください。(P16参照)
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○○○○○○○		
8	ERRORランプ（赤）	●●○○●●○○●●○○●●○○	ボンネット検出 エラー	本機作動中にボンネットセンサーが働いた状態。 解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 対策　ボンネットセンサーの接続を確認してください。
	POWERランプ（緑）	○○◉◉○○◉◉○○◉◉○○◉◉		
9	ERRORランプ（赤）	●●○○●●○○●●○○●●○○	バッテリー 電圧検出エラー	バッテリー低下したことをお知らせします。 電圧が復活するまで点滅します。 バッテリーの整備点検をお勧めします。
	POWERランプ（緑）	◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉◉		
10	ERRORランプ（赤）	●●●●●●●●●●●●●●●●	リレー溶着 エラー	メインユニットのリレーが溶着しています。 対策　再度ID登録を行って下さい。(P9参照)又は、キーONにして下さい。再度点灯する場合はサービス部へご連絡下さい。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○○○○○○○		
11	ERRORランプ（赤）	●●○●○●○●●○●○●○●●	カーテシ検出 エラー	カーテシ配線(P29)した場合、本機作動中にドアを開いてエンジンがストップした時の状態。解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 対策　カーテシ線の接続を確認してください。(P29参照)
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○○○○○○○		
12	ERRORランプ（赤）	●○○○●○○○●○○○●○○○	Pポジション検出 エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 Pポジション線の接続を確認してください。(オプションBe-963取説参照)
	POWERランプ（緑）	○○◉○○○◉○○○◉○○○◉○		
13	ERRORランプ（赤）	●●●○●●●○●●●○●●●○	ACC検出 エラー	本機作動中にIGキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。
	POWERランプ（緑）	○○◉◉◉○◉◉◉○◉○○◉◉◉		
14	ERRORランプ（赤）	●●●●○○●●●●○○●●●●	L端子配線違い エラー	L端子以外の線に間違って配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策　L端子配線の確認をしてください。(P17参照)
	POWERランプ（緑）	◉○○◉○○◉○○◉○○◉○○◉		
15	ERRORランプ（赤）	●●○○○○○●●○○○●●○○	IG2未検出 エラー	取付けを行った後、確実にキーでエンジン始動させてIG2の認識を行って下さい。(P12 4参照)
	POWERランプ（緑）	○○◉○◉○◉○○◉○◉○◉○○		

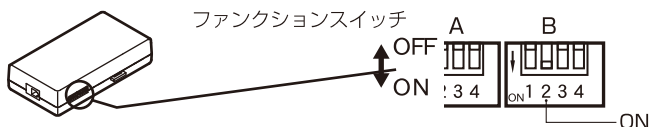
取付け(フットブレーキ配線)

⚠注意

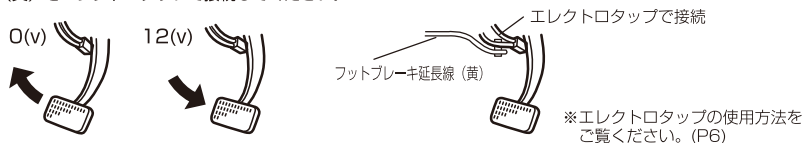
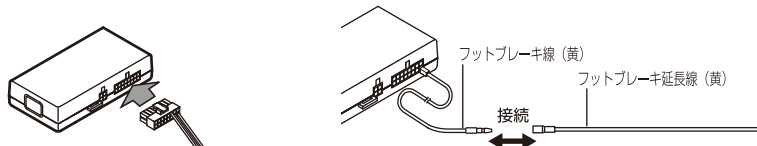
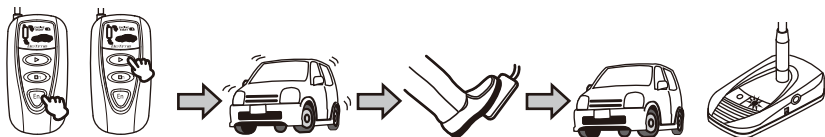
次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチB-2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

- 日産の全ての車種。※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、バードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- シフトレバーが P の位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットのERRORランプ（赤）とPOWERランプ（緑）が同時に点滅する場合。
- エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチB-2をONにしてください。

2 付属のフットブレーキ延長線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0(v) 、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ線（黄）をエレクトロタップで接続してください。

※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。(P6)

3 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。
16Pハーネスから出ているフットブレーキ線(黄)とフットブレーキ延長線を接続してください。

4 リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。
(その時、アンテナユニットのLEDがLED確認表P15のＮｏ.7を表示しているか確認してください。)

取付け(L端子検出配線について)

■簡略化されたエンジン始動検出（L端子配線省略可能）

本機には、2種類（自動検出･L端子検出）のエンジン始動検出方法があります。
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。
下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

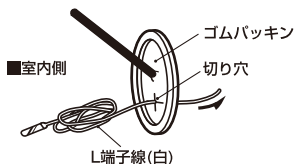
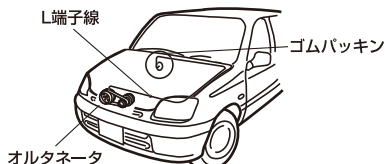
- ･エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ･セルが回らないにもかかわらず、POWERランプだけ点滅し、本機作動中となっている。
- ･寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

⚠ 注意

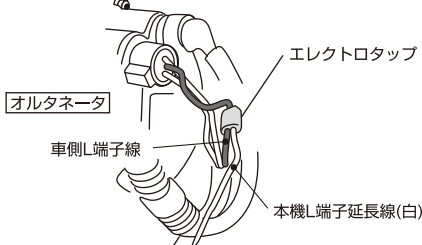
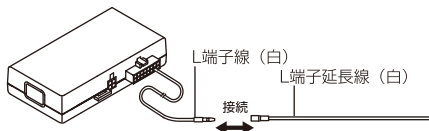
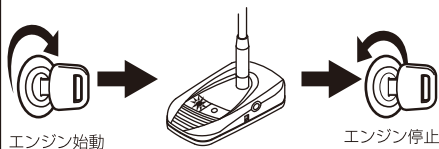
- ・シフトレバーをパーキング［P］にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

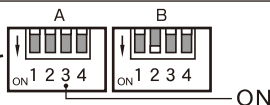
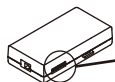
1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け本機L端子線（白）を図の様に室内側からいれてください。

2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本機L端子延長線（白）を配線してください。

3 車のオルタネータにあるL端子線を探して下さい。

車側L端子の見分け方

キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

※エンジン始動時6V以下の場合はBe-966が必要です。

4 車のL端子線と本機L端子延長線（白）を付属のエレクトロタップで接続してください。

5 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線(白)と付属のL端子延長線(白)を接続してください。

6 キーでエンジンを始動し、アンテナユニットのパワーランプ（緑）が点灯するのを確認後、キーをOFFにしてください。

7 メインユニットのファンクションスイッチA-3をONにしてください。

ファンクションスイッチ

リモコンの使用方法(エンジンを始動/停止させる)

リモコンでエンジンを始動させる

（リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。）

取付け接続後、必ずP12,13「作動確認」を行ってから下記の操作を行って下さい。
P7～P9の取付けを行った後、必ずキーをST(セル)まで回して一度エンジンを始動させてください。
(メインユニットがIG2の自動認識を行います。)※この動作を行わないとリモコンでエンジン始動ができません。

1.ENスイッチを押します。

送信ランプ(赤色)が点滅します。

2.送信ランプが点滅してる間にスタートスイッチ(▶)を押します。

送信ランプ(赤色)が点灯に変わります。

3.アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、リモコンに信号(アンサーバック)を送ります。※1

リモコン受信しない場合は、下記**4**の動作を行いません。

※1　信号を、受信しなかった場合リモコンの受信ランプ（緑）は何も点灯しません。
（メロディー又は、ブザー音を選択した場合は、NG音が流れます。）

4.エンジン始動するとリモコンに始動確認信号を送ります。※2

エンジン始動ランプ

ハッピ～♪

アンサーバック音の鳴り方
メロディー選択の場合　ハッピーメロディー
ブザー　　選択の場合　ピーピー

リモコンのエンジン始動ランプ(橙色)と受信ランプ(緑色)が同時点灯します。※3

※2　リトライでエンジン始動してもリモコンには返事は返ってきません。
その場合は、下記の「エンジン始動確認する」でご確認下さい。

※3　一部車輌でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては周囲の電波の影響を受けアンサーバックしないことがあります。

リモコンでエンジンを停止させる

（リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。）

1.ENスイッチを押します。

送信ランプ(赤色)が点滅します。

2.送信ランプが点滅してる間にストップスイッチ(■)を押します。

送信ランプ(赤色)が点灯に変わります。

3.アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、リモコンに信号(アンサーバック)を送りエンジンが停止します。

※　信号を、受信しなかった場合リモコンの受信ランプ（緑）は何も点灯しません。
(メロディー又は、ブザー音を選択した場合は、NG音が流れます。)

エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、上記「リモコンでエンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。
エンジンがかかっていれば、エンジン始動ランプ（橙色）と、受信ランプ（緑色）が点灯します。
エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

※　アンサーバックしない場合、場所によっては周囲の電波の影響を受け通信距離が極端に短くなる場合もあります。
また、車輌電気ノイズの影響でエンジン始動に比べ停止させる方が短くなることがあります。

リモコンの使用方法(アンサーバック音の切替えについて)

リモコンのアンサーバック音を、メロディー/ブザー/無音の中から選択することができます。
(工場出荷時は、メロディー)

1.スタートスイッチ(▶)と、ストップスイッチ(■)を同時押しします。

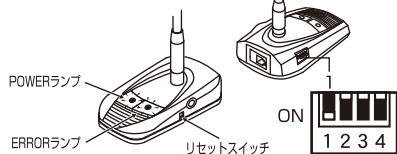
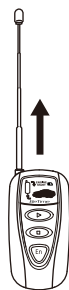
送信ランプ(赤色)が点灯し、ブザー音が鳴ります。

●スタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時押しする度に
　メロディー → ブザー → 無音の順で切り変わります。

メロディーを選択する場合・・・・・・メロディー音が鳴ったら止めます。
ブザーを選択する場合・・・・・・・・ブザー音(ピーッ)が鳴ったら止めます。
無音を選択する場合・・・・・・・・・ブザー音(ピッ)と鳴ったら止めます。

リモコンの追加登録方法

付属のリモコン以外に予備のリモコンを持つことができます。（付属のリモコンを含め合計2個まで）
1台の車で共有しているご家族の方々に最適です。
付属のリモコンのID登録はP9 6 を参照して下さい。

①パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をONにします。(ID登録入力時のみONにします)
その後、リセットスイッチを押してください。
(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)

②リモコンのアンテナを十分にのばします。

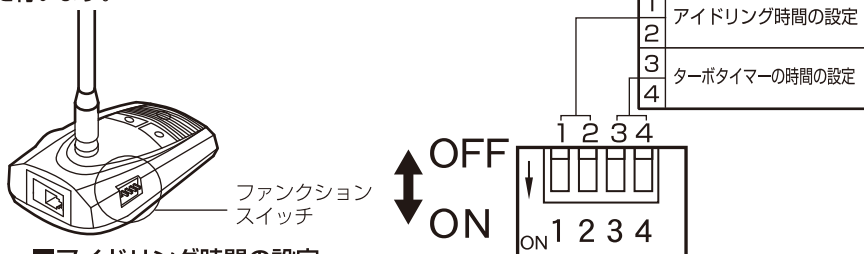
③リモコンのEN スイッチを押します。

④リモコンの送信ランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時に押します。

同時押し

⑤ ID登録後、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をP20のアイドリング時間の設定表に従って設定して下さい。

アンテナユニットの操作方法(アイドリング時間とターボタイマーの設定について)

■アイドリング時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチＮｏ.１・２)で設定を行います。
■ターボタイマーの時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチＮｏ.３・４)で設定を行います。

■アイドリング時間の設定

ファンクションスイッチ ＼ アイドリング時間	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.1	No.2
10分	OFFにします	OFFにします
20分	ONにします	OFFにします
30分	OFFにします	ONにします
40分	ONにします	ONにします

■ターボタイマー時間の設定

⚠ 危険

※ターボタイマーを作動させる場合、必ず下記の確認をお願いします。
一部車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)の位置以外でキーをOFFにして抜けてしまうものがあります。その場合は、オプションPポジション線(Be-963)をシフトレバーをP(パーキング)の位置に動かした時に、12V又は0Vの変化※1ある車輌側線に接続してください※2。キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのファンクションスイッチB-1をONにして下さい。
※1メインユニットのファンクションスイッチA-1をどちらかに設定します。(P14)
※2メインユニットの16PコネクターNo.16のピンへ接続してください。(P15)

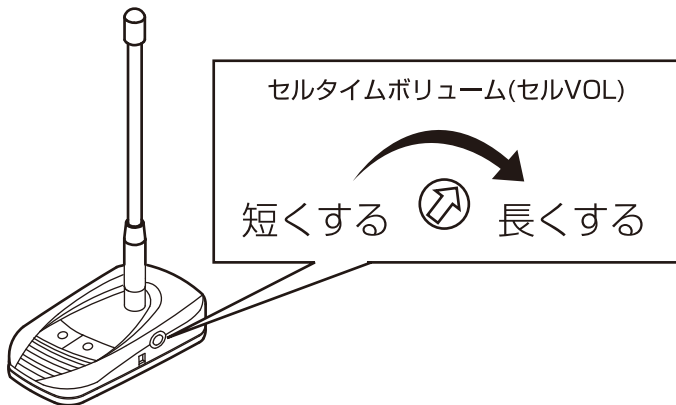
ファンクションスイッチ ＼ ターボタイマー	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.3	No.4
使用しない	OFFにします	OFFにします
30秒	ONにします	OFFにします
1分	OFFにします	ONにします
5分	ONにします	ONにします

アンテナユニットの操作方法(アンテナユニットのセル調整について)

通常セル時間は、メインユニットのA-2をOFF(オート設定）にすることで、最適な時間でセルを自動的に止めますが、一部車種でごくまれに、エンジン始動する前にセルが止まったり、エンジン始動後にセルをひきずったりすることがあります。
その場合、アンテナユニットの側面にあるセルボリュームを調整することで、セル時間を最適な時間にすることができます。

セルボリューム調整のしかた

1. メインユニットのファンクションスイッチA-2をONにします。

2. アンテナユニットのセルボリュームを、ドライバー等を使用して調整します。

(注意1) メインユニットのファンクションスイッチA-2をON(マニュアル設定)にした場合、アンテナユニットのセルタイムボリュームで0.5秒～2.5秒まで調整できます。

(注意2) メインユニットのファンクションスイッチA-2をOFF(オート)の場合エンジン始動検出確認してから、最長1秒までアンテナユニットのセルタイムボリュームでセル時間を延長できます。

(注意3) セルタイムボリュームを強く回し過ぎると、破損する場合があります。

機能説明(セキュリティーモードについて)

■セキュリティーモードとは

アンテナユニットに内蔵している高輝度LEDを点滅させて夜間、不審者に心理的威圧感を与えることを目的とした機能です。

セキュリティーモードをスタートさせる

1. リモコンのスタートスイッチ(▶)を2度押しします。

●送信ランプが点滅から点灯に変わります。
●ドアロック配線している場合、ドアロックと連動します。
●守護神シリーズを接続している場合、セキュリティースタートします。
(P23参照)

2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号(アンサーバック)を送ります。

※1 リモコンでエンジン始動中、スタートスイッチ(▶)を2度押しした場合
リモコンのエンジン始動ランプと受信ランプが同時点灯します。
又、スタートスイッチ(▶)を長押しした場合も、
リモコンのエンジン始動ランプと受信ランプが同時点灯します。

3. アンテナユニット内蔵LEDランプが点滅します。

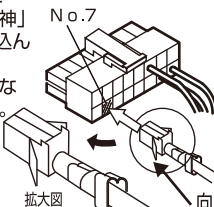
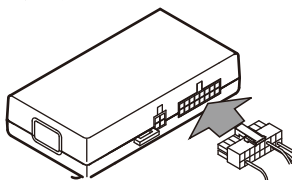
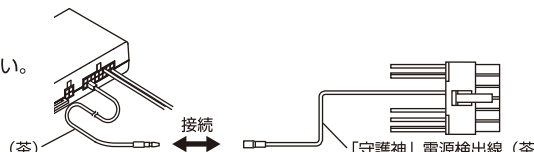
セキュリティーモードをストップさせる

1. リモコンのストップスイッチ(■)を2度押しします。

●ドアロック配線している場合、ドアアンロックと連動します。
●守護神シリーズを接続している場合、セキュリティーストップします。
(P23参照)

2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号(アンサーバック)を送ります。

※1 リモコンでエンジン始動中、スタートスイッチ(■)を2度押しした場合
リモコンのエンジン始動ランプと受信ランプが同時点灯します。
又、スタートスイッチ(■)を長押しした場合も、
リモコンのエンジン始動ランプと受信ランプが同時点灯します。

3. アンテナユニット内蔵LEDランプが消灯します。

●セキュリティーモードを使用しない(アンテナLEDランプを点滅させない)場合
・リモコンのENスイッチを5秒以上押します。
セットが完了すると受信ランプが点灯し終了します。

●セキュリティーモードを復帰させる場合
・リモコンのENスイッチを再度、5秒以上押します。
セットが完了すると受信ランプが点灯し終了します。

機能説明(当社別売り盗難警報装置「守護神」シリーズとの連動について)

当社、別売り自動車盗難警報装置「守護神」シリーズをリモコンのドアロック・アンロック操作と連動して、スタート、ストップさせることができます。

守護神シリーズとの接続のしかた

守護神シリーズのセキュリティースタートさせる

●P22の「セキュリティーモードをスタートさせる」と同様に、リモコンスタートスイッチ(▶)を2度押しします。
アンテナユニットLEDランプが点滅し守護神がスタートします。

守護神シリーズのセキュリティーストップさせる

●P22の「セキュリティーモードをストップさせる」と同様に、リモコンストップスイッチ(■)を2度押しします。
アンテナユニットLEDランプが消灯し守護神がストップします。

守護神シリーズの警報を止める

●守護神が作動又は、警報中でもキーでエンジンをかけるとストップします。

注意

A-73又は守護神のリモコンで、セキュリティースタート・ストップ作動させる場合は、誤作動防止とセキュリティー機能向上のため下記の事項を必ずお守り下さい。

●A-73のリモコンでセキュリティー連動スタートした場合は、必ずA-73のリモコンでセキュリティーストップして下さい

●守護神のリモコンでセキュリティースタートした場合は、必ず守護神のリモコンでセキュリティーストップして下さい。

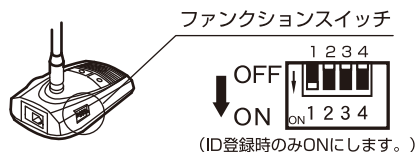
機能説明(当社別売り盗難警報装置「守護神」シリーズとの取付けについて)

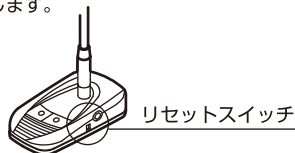
守護神SS-150,300,350のリモコンで本機のエンジン始動を行う

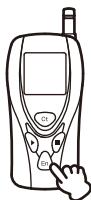
守護神　SS-150,300,350のリモコンで本機のエンジン始動/停止を行うことができます。
まず最初にID登録を行う必要があります。

●ID登録方法

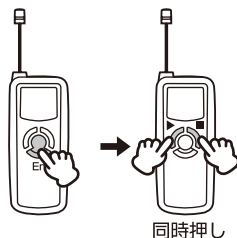
1 本機のアンテナユニットのファンクションスイッチNo.1をONにします。

(ID登録時のみONにします。)

2 本機のアンテナユニットのリセットスイッチを押します。

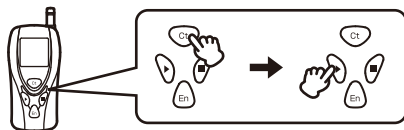
リセットスイッチ

3 SS-150,350の場合

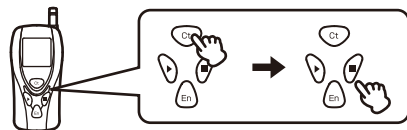
Enスイッチを2度押しします。

※SS-150,350のリモコンを使用する場合、
SS-150,350のメインユニットにID登録2又は、
ID登録3の操作を再度行ってください。

SS-300の場合

Enスイッチを押し、送信ランプ点滅中にスタートスイッチ(▶)/ストップスイッチ(■)を同時押しします。

●操作方法

**守護神SS-150.350の
リモコンでエンジン始動させる**

コントロールスイッチ(ct)を押し待ち受け画面表示中にスタートスイッチ(▶)を押します。

**守護神SS-150,350の
リモコンでエンジン停止させる**

コントロールスイッチ(ct)を押し待ち受け画面表示中にスタートスイッチ(■)を押します。

**守護神SS-300の
リモコンでエンジン始動させる**

エントリースイッチ(En)と
スタートスイッチ(▶)を同時押しします。

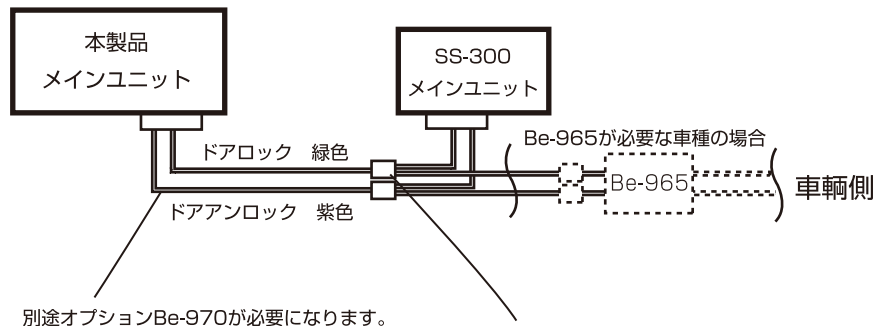
**守護神SS-300の
リモコンでエンジン停止させる**

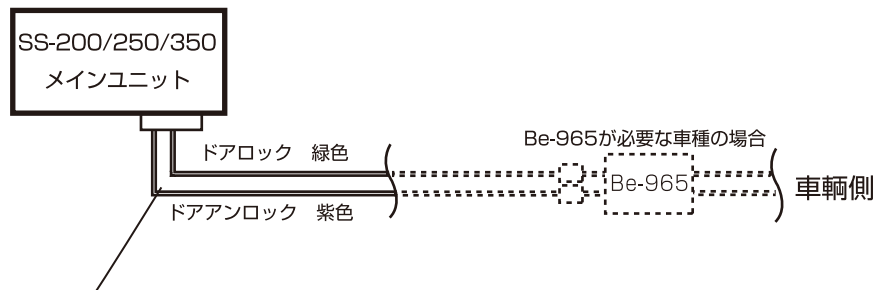
エントリースイッチ(En)と
ストップスイッチ(■)を同時押しします。

機能説明(当社別売り盗難警報装置「守護神」シリーズとの取付けについて)

当社別売「守護神」シリーズを、車輌にドアロック配線することで「守護神」のリモコンでドアロック・アンロックさせることができます。
又、A-73のリモコンでもドアロック・アンロック作動させる場合は、下記のような配線を行うことによりどちらのリモコンでも作動させることができます。
(基本的な車輌への接続方法は、P26～P28を参照のこと)

SS-300の場合（ビータイムシリーズとSS-300両方で配線を行って下さい。）

別途オプションBe-970が必要になります。

トヨタ車など、Be-965が必要ない車種は
本製品のメインユニットと車輌の間に
また、ニッサン車など、Be-965が必要な車種は
本製品のメインユニットとBe-965の間に
ドアロック・ドアアンロックそれぞれの線に
エレクトロタップで接続します。

SS-200/250/350の場合（守護神側で配線を行って下さい。）

SS-200の場合、別途オプションSS-054が
必要になります。

機能説明(ワイヤレスドアロック機能について) オプションBe-970が必要になります。

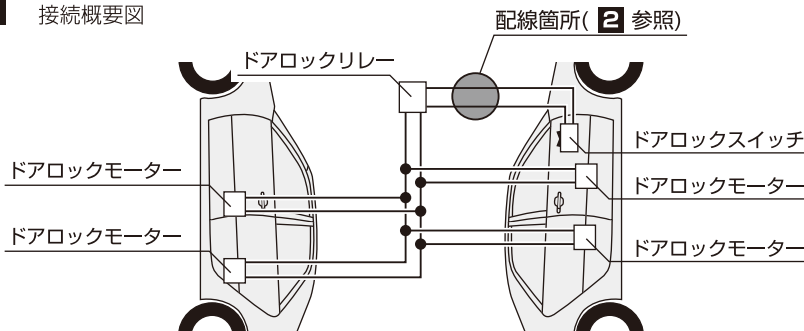
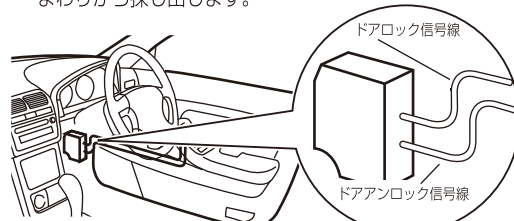
本機リモコンでドアロック・アンロック作動させることができます。

■接続方法

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、本製品以外に別売ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種がありますので注意して下さい。

Aタイプ（マイナスコントロール）・・・・・本製品だけでオプションワイヤレスドアロックアダプターBe-965を購入しなくても作動するタイプ

Bタイプ（プラスコントロール）・・・・・オプションワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

詳しくは、最新のビータイム車種別専用ハーネス適合表をご確認下さい。

※但し、下記に示す車輌には使用できません。
- ●弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・アンロック作動可能と明記のない車種。
- ●トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- ●多重通信車
- ●集中ドアロック制御できない車種。
- ●弊社以外のセキュリティーシステム装着車(ドアロック連動タイプ)

■接続方法

Aタイプ　本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ

1 接続概要図

2 車輌側ドアロック・アンロック線を探してください。

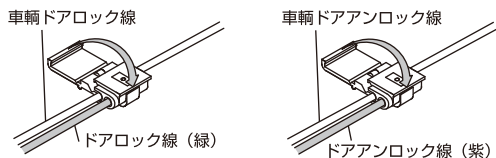
ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。

※場所は車種によって異なります。

	ドアロック線(通常12V)
↓	ドアロック動作時→0V 動作後→12V

	ドアアンロック線(通常12V)
↑	ドアアンロック動作時→0V 動作後→12V

Aタイプの続き

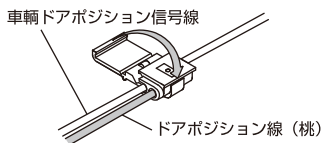
3 ドアロック・ドアアンロック線（緑・紫）を項目 **2** で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、延長線をボディーアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

4 項目 **3** の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（トヨタ系又はニッサン系の一部車輌）ドアアンロックが作動する場合は、項目 **6** へ進んでください。

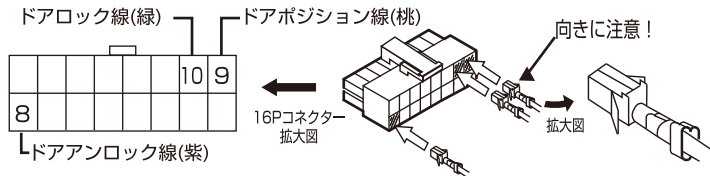
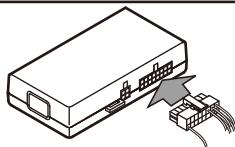
ドアロックノブを操作してロック時に12V※2、アンロック時に0Vになる線を探します。

※2.一部の車種で、パルス信号のため、12V出力しないものがあります。

5 項目 **4** で探したドアポジション信号線にドアポジション線（桃）をエレクトロタップで接続します。

※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディーアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

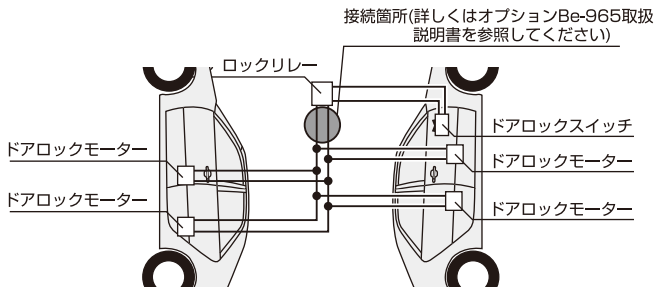
6 16PコネクターのNo.8にドアアンロック線(紫)を
〃　No.9にドアポジション線(桃)を
〃　No.10にドアロック線(緑)を
しっかり差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

7 メインユニットにコネクターを差し込んでください。

機能説明(ワイヤレスドアロック機能について）

Bタイプ　別売ワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

1 接続概要図

ドアロック線(通常0V)・・・・・・ロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。

ドアアンロック線(通常0V)・・・・アンロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。

機能説明（ワイヤレスドアロック機能の使用方法）

■使用方法

1 ●ドアロックする時

・セキュリティスタートモード+守護神連動

▶スイッチを
2度押ししてください。

・ドアロックのみ

▶スイッチを
2秒以上長押ししてください。

2 ●ドアアンロックする時

・セキュリティスタートモード+守護神連動

■スイッチを
2度押ししてください。

・ドアロックのみ

■スイッチを
2秒以上長押ししてください。

⚠ 注意　オートロック機能について

本機リモコンでアンロックした場合、約30秒後に自動的にロックされますのでインロックにはご注意ください。
オートロック機能解除の方法(次の**1**か**2**の動作を行って下さい。)

1【その都度解除する方法】
カーテシ配線(P29)をしてドアアンロック後約30秒以内にドアを開けてください。
ドアを開けてから30秒以内にキーをONまでまわして下さい。
(但し、リモコンでエンジン作動中は約15秒後にエンジンが停止します。)

2【オートロック機能を消去する方法】
①キーをOFFからACCにして約3秒以上待ってください。
②キーをOFFに戻します。
③キーをONの位置に回して約3秒以上待ってください。
④キーをOFFに戻します。
⑤リモコンストップスイッチ(■)を2度押ししてください。
※インジケーターパネルの警告ランプ等がON・OFF2回点滅を繰り返せば完了です。
消去後、同じ動作を行えばオートロック機能は復帰します。その時インジケーターパネルの警告ランプ等がON・OFF1回点滅します。

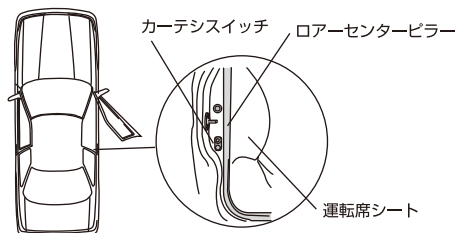
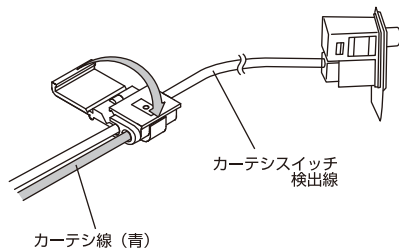
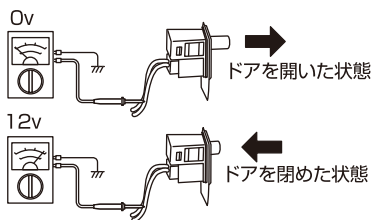
機能説明(カーテシ検出による安全機能) オプションBe-970又はBe-963が必要になります。

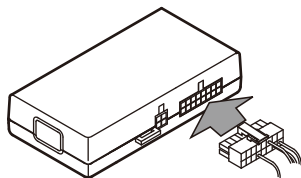
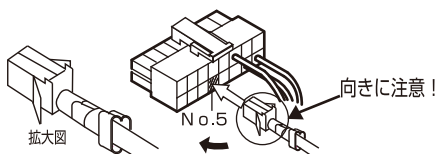
■リモコンでエンジン作動中ドアを開けると15秒後にエンジンを停止させる事ができます。

注1.ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしてもエンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

注2.リモコンでエンジン始動中、ドアを開けてから約15秒以内にイグニッションキーをONの位置まで回すと、エンジンは停止しません。

注3.一部の車種でキー照明等でカーテシ配線すると、オートロック機能が作動しないことがあります。

1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。

2 車輌側カーテシ検出線をテスター等で探し,付属のカーテシ線（青）と車輌側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。

3 ①16PコネクターのNo.5に付属のカーテシ線(青)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

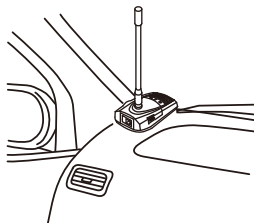
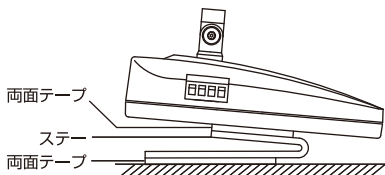
②メインユニットにコネクターを差し込んでください。

4 リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒後にエンジンが停止するか確認してください。（LED確認表(P15)のNO.11を表示しているか確認してください。）

アンテナ・メインユニットの固定方法

■アンテナユニットの取付け・配線

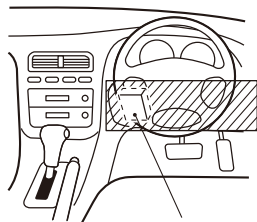
注意
・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

アンテナユニットとダッシュボードの間に下図のように、必ずステーを使用して付属の両面テープで、車外からアンテナが見える場所にしっかりと固定します。

※ステーを使用せずアンテナユニットを直接ダッシュボード等に固定すると、炎天下に電波飛距離が短くなる恐れがあります。

※両面テープは、ハサミ等を使用して適当な長さにカットしてご使用下さい。

■メインユニットの取付け

注意
・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P12〜14）を行ってください。
・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付は避けてください。

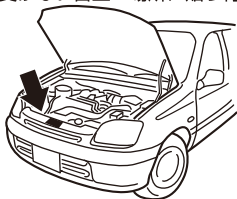
運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。
（アンダーカバー内側等）

（例：この周辺に取付けます。）

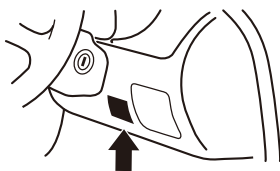
(警告ステッカーの貼り付け場所)

■警告ステッカーについて

・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。

2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。

運転するには

■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。
運転するときは、必ずキーをONの位置までまわしてから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。
（フットブレーキ配線をしている時は、キーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。）

⚠ 注意

・キーをセルの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
・キーをONの位置までまわさずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが効かなくなる等大変危険です。

リモコンを紛失したときは

リモコンを紛失または破損した場合

新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードを既存のアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。　別売リモコン　オープン価格
IDコードの登録方法はP9(IDコードの登録)に記載しています。

リモコンの電池交換について

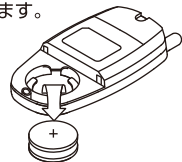
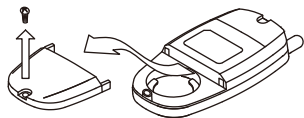
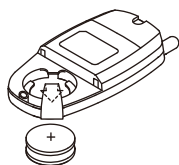
⚠ 注意

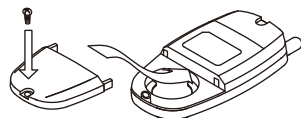
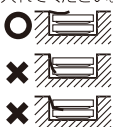
・電池寿命の目安は新品の電池で1日2回使用した場合、約1年間持ちます。
(出荷時はテスト用電池をセットしていますが、自然放電や使用する条件によって１年以下の場合があります。)
・リモコンはリチウム電池(CR2032)を２個使用しています。それ以外の電池は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

⚠ 警告

・交換した電池は、お子様の手の届かない所に保管して下さい。
万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡して下さい。

1 電池カバーのネジを外し、矢印の方向へずらして取り外します。

2 電池(CR2032)を矢印の方向に従って１個づつ取り外します。

3 新品の電池(CR2032)を矢印の方向に従い＋を上向きにして１個づつ入れます。

電池を＋端子の下へもぐりこませる様に入れてください。

4 電池カバーを閉め、ネジをしめます。

故障かな？と思ったら

■エンジンスターター

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アースはとれていますか？	・アースを確実にとってください。
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。(P31)
	・本体内の「IDコード」が消失している可能性があります。	・P9の「IDコードの登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アンテナユニットのランプ表示が点滅していませんか？	・P15の「LED確認表」を参照し、P12～14の「作動確認」を行ってください。
	・アンテナユニットのPOWERランプ(緑）とERRORランプ（赤）が点灯していませんか？	・P9の「IDコードの登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンは始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか？	・P20「アイドリング時間の設定」を参照し確認してください。
	・アース不良が発生していませんか？	・アースを確実にとってください。

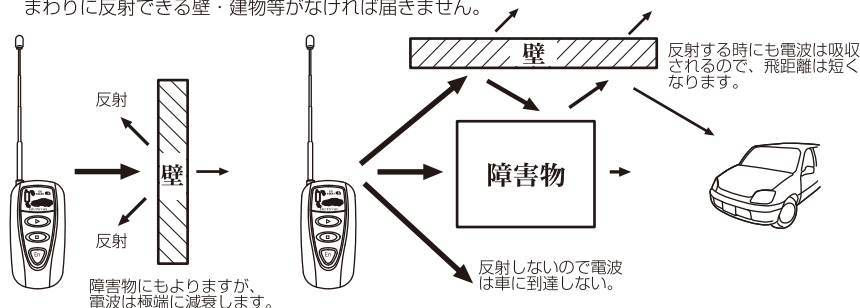
■ターボタイマー

症状	確認内容	対処方法
ターボタイマーが作動しない。 （ACC電源が切れる）	・ターボタイマー機能が設定されていますか？（出荷時の設定はOFFです）	・P20「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・アンテナユニットのERRORランプが点滅していませんか？(P15)	・フットブレーキを踏みながら、イグニッションキーをOFFにしていませんか？

■電波の到達距離について（電波特性）

・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する。）

・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

ご購入日から3年間です。

■修理を依頼されるとき

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」(P32)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輌と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合
有料修理となります。販売店にご相談下さい。

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P9「IDコードの登録」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	−116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	−20℃～+60℃
使用電池	リチウム電池　CR2032×2
ケース寸法	32.5（W）×64（H）×16（D）mm
重量	33g（電池含む）

■アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数変移	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以内
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	−116dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1／4λホイップアンテナ
動作温度範囲	−20℃～+70℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
消費電流	待機時10mA以下(セキュリティーモードオフの時)
ケース寸法	49（W）×79（H）×20（D）mm
重量	76g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2（IG1・IG2） 25A×4（ACC・ST1・ST2・ST- CONT ）
寸法	66.5（W）×127.5（H）×29（D）mm
重量	250g（コード含む）